

高齢者交通事故防止の取組みに島根県・丸山知事から御礼挨拶

～「反射材付き交通安全啓発チラシ」3千部を島根県交通安全対策協議会に贈呈～

日本損害保険協会中国支部委員会(委員長:毛利 吉成・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 執行役員 中国本部長)は、11月7日(火)、毛利委員長と島根損保会・荒川 貴博 会長(あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 島根支店 支店長)が島根県庁を訪問して、島根県交通安全対策協議会に「反射材付き交通安全啓発チラシ」を3千部贈呈しました。

毛利委員長から、「損保協会では、安心・安全な社会の実現のため、高齢者の交通事故防止を重点取組みの1つとして掲げ、積極的に推進している。本反射材を靴やカバンに貼り付けていただくことで、少しでも高齢者の交通事故が減少することを願っている。」と挨拶がありました。

次いで、毛利委員長から、同協議会の会長である島根県・丸山達也 知事に目録が手渡されました。

丸山知事から、「このような寄贈は本当に心強く、ありがたく思う。日暮れがだいぶ早くなり交通事故が増える可能性が高まるので、高齢者の交通事故防止に役立てたい。」と挨拶がありました。

贈呈した「反射材付き交通安全啓発チラシ」は、同協議会を通じて、島根県内の警察署などに配分されて、年末の交通事故防止運動で高齢者への交通事故防止啓発活動に役立てられます。

当支部では、引き続き、島根県をはじめとした関係先との連携を強化して、高齢者の交通事故防止をはじめとした交通事故防止に関する活動に取り組んでいきます。



丸山知事(左) 毛利委員長(中) 荒川会長(右)



丸山知事(左)に目録を渡す毛利委員長(中)



懇談の様子